

申込集計表

集計日：2019年03月08日

様式Ver.	1
様式ID	00112
様式名	自殺対策計画策定にかかるパブコメ
集計期間	平成31年2月26日～3月8日
回答数	6

自殺対策計画(案)への意見	1	<p>今回この様な計画が策定されることについて心から賛同すると共に、市内における一事業者としてこの計画の推進の為に市行政と協力していきたいと考えます。</p> <p>定期的に事業所へ専門のカウンセラーに訪問して頂き、希望する社員へカウンセリングをして頂くといったことを考えたのですが、結局この近辺ではその様な専門の方がみつかりませんでした。例えば、市がそういった専門の方を定期的に市内の事業所へ派遣(当然有償です)するといった支援は考えて頂けないでしょうか？ 一社だけですと費用がかなりかかるのですが、市内の希望する企業を庄原市が募って頂き、各事業所で費用を分担する方式をとれば我々中小企業家も社員に対するこういった支援を導入し易くなります。</p>
	2	<p>今までのやり方とこれから何が変わるのかがわかりにくいと思います。新しく始める取り組みや分野など分かりやすいといいと思います。自殺者がほかの地域より多いのが不思議です。少ない地域と何が違うのでしょうか。困っている人が助けを求めていることもわかりにくい点なのかもしれません。</p>
	3	<p>本人や家族が困った時に、相談がしやすい環境整備が大切だと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員さん等は、場合によっては顔見知りであり、第一声を掛けにくいケースもあるため、匿名で気軽に相談できるような環境の整備が必要。(県等との連携も含めて) ・日頃から、市の広報誌等により、相談窓口の幅広いPRが必要。
	4	<p>庄原市自作対策計画を読ませていただきました。</p> <p>第2章の現状と課題の所では、問題がよく分析されていると思います。</p> <p>いろいろな施策がなされている中、家族や友人、知人以外で相談できる人がいないと回答する方の多いことに気づきます。</p> <p>私は東城キリスト教会の牧師をしておりまして、かつ、庄原市社会福祉協議会の非常勤職員をしておりまして、東城のひきこもりの方々の支援をしておりませんが、出合いのきっかけが必要と思っております。</p> <p>神龍湖では自死される方が多いと聞きますが、(庄原市の管轄外かもしれませんが)例えばそういったところに看板を立てるとか、うつ病で診察する病院に無料相談のチラシを置いたり、市民で自殺予防の会を立ち上げてボランティアを募って相談できる場を作るとか、何か市民を巻き込んだアクションや、訴えかける看板等、目に見えるアプローチが必要だと思います。</p>
	5	<p>計画が見にくいです。</p> <p>わかりやすく、簡潔に書いて欲しいと感じました。</p>
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・市の各課が取り組む事業が多すぎるような気がします。 ・市の既存の事業を集約したようにも見えます。 ・国や県の担当部局や民間(NPO等)の団体との積極的な連携により、市の負担軽減が望ましいのではないのでしょうか。 ・県立広島大学や近隣の大学、県内外の自治体と連携して自殺予防に関する研究や講座などを開催するののも一つの案ではないのでしょうか。 ・市の職員も過剰な業務や多様なニーズへの対応に疲弊しているように見えます。またメンタル不調の職員も多いと聞きますので、過労、精神衛生上の問題、育児や介護疲れなど理由は様々ですが、リスクが高い職場とならないように気をつけてください。